

一般質問通告一覧表

令和7年9月定例会

通告順	氏 名 / 件 名 及 び 要 旨
4	(箱崎 英輔) 1. 公共施設予約システムのデジタル化と利用促進について (要旨) スマホ役場などDX化が進む中、社会教育関係の公共施設利用予約方法に地域や施設ごとのばらつきが見られます。この情報格差を解消し、町民の利便性を高めるための取り組みについて伺います。 (1) デジタル化の現状と課題 ① 遠浅、早来、安平、追分地区の施設におけるWEB上での予約・利用確認の現状と、それによる町民の利便性の差について、町はどのように認識しているか。 ② 施設予約から利用確認、支払いまでを一元的に管理できる「公共施設利用プラットフォーム」のような包括的なシステムの構築を検討する考えはあるか。 (2) デジタルデバインド（情報格差）への配慮として、「スマホ教室」などの事業を行い一定の配慮はしているが、その他のサポート体制についてどのように考えているのか。

2. 追分公民館の未来を見据えた利活用について

(要旨)

追分公民館の大ホールに空調やW i - F i が整備される一方、図書室やホールの備品には時代の変化に合わないものが見受けられます。町民が学びや仕事、交流に活用できる現代的な公共施設とするために今後の在り方について伺います。

(1) 施設の「現代化」に向けた課題

- ① 現在の古い備品を更新・撤去し、オンライン学習や仕事、交流に利用できる「コワーキングスペース」のような空間づくりを検討する考えはあるか。
- ② 施設の利用実態や改善点について、利用者や公民館職員の意見をどのように吸い上げ、運営に反映させているか。

(2) 多世代交流の拠点化

若者から高齢者まで、あらゆる世代が交流できる場とするためにどのような工夫が必要か。また、追分地区全体の中で、公民館が果たすべき役割をどのように考えているか。

3. 安平町の教育広報戦略と町の魅力発信について

(要旨)

安平町のホームページは、町の特性や現状を伝える重要なツールですが、教育分野については改善の余地があると考えます。未来を担う子どもたちの成長を町全体で支えるため、どのような教育広報戦略を考えているのか伺います。

(1) 町のホームページの一番上の表示に早来学園の項目がある経緯。

- (2) 今後、町全体の教育広報戦略をどのように考えているのか。その際、各学校が持つ独自の教育内容や特色を町全体としてどのようにPRしていくのか。

(例：総合学習、C F C I、子どもの遊び場、社会活動（子ども会や自治会・町内会活動）)

4. 「日本一の公教育」に向けた安平町の学びの展望について

(要旨)

A Iをはじめとする技術が社会を大きく変える中、「日本一の公教育」を掲げる安平町として、子どもたちの未来を育むためにどのような学びを展開していくのか、そのビジョンを伺います。

(1) 追分中学校の改修について

- ① 改修の目的は何か。「学校機能の強化」または「地域との連携強化」のどちらか、または両方を目的としているのか。
- ② 学校機能の強化ならば、改修が教育環境の向上にどう貢献するのか。地域との連携強化が目的ならば改修された施設をどのように地域に開放していくのか。

(2) 総合的な学習の更なる進化と町内連携

- ① 各学校で行われている総合的な学習の現状をどのように認識しており、課題は何か。
- ② 日本一の公教育を目指す上で、町内の各学校・園が持つ独自の教育ノウハウや特色を町全体でどのように共有・発展させていくのか。各学校の優れた取り組みを「点」で終わらせず、「線」で結び付けていくためのビジョンを伺う。